
全国健康保険協会千葉支部 第 1 0 5 回評議会 (平成31年4月16日開催)

ジェネリック医薬品安心使用促進セミナーについて



「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」開催結果

- 平成31年3月7日に県と共催で医療関係者を対象としてセミナーを開催。
- 当日は約140名の医療関係者（薬剤師、保険者、自治体、製薬会社等）の参加があり、会場はほぼ満席。
- ジェネリック医薬品の使用促進に向けた取組報告（病院、薬局、製薬会社）のほか、「これからのジェネリック医薬品使用促進に必要なこと」をテーマにパネルディスカッションを実施。

一次第一

18:30～

◆開会挨拶

千葉県健康福祉部保健医療担当部長 岡田 就將

18:35～

◆基調講演

「千葉県の現状と課題」

千葉県健康福祉部薬務課 監視指導班長 眞壁 祐樹

18:45～

◆取組報告

「千葉県のジェネリック医薬品の使用促進に向けた取組事例」

- ・地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 副院長 渡邊 三郎 氏
- ・一般社団法人千葉県薬剤師会 理事 横田 秀太郎 氏
- ・沢井製薬株式会社 千葉営業所 営業学術担当 橋本 純 氏

19:20～

◆パネルディスカッション

「これからの千葉県のジェネリック医薬品の使用促進に必要なこと」

《パネリスト》

- ・地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 副院長 渡邊 三郎 氏
- ・帝京大学ちば総合医療センター薬剤部 部長 飯塚 雄次 氏
- ・一般社団法人千葉県薬剤師会 副会長 小西 弘晃 氏
- ・沢井製薬株式会社 千葉営業所 営業学術担当 橋本 純 氏
- ・千葉県健康福祉部薬務課長 松本 正敏
- ・全国健康保険協会千葉支部長 鶴岡 茂樹

《座長》

- ・城西国際大学 薬学部長 光本 篤史 氏

20:00～

◆閉会挨拶

全国健康保険協会千葉支部長 鶴岡 茂樹

平成31年3月9日（土）千葉日報 2面に掲載

ジェネリック先進県へ

協会けんぽ千葉支部

セミナーに医療関係者140人



医療関係者ら約140人が参加したジェネリック医薬品安心使用促進セミナー＝中央区

県と全国健康保険協会千葉支部（協会けんぽ千葉支部）は7日夜、中央区内のホテルで医療関係者向けのセミナー「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」を開催し、約140人が参加した。同セミナーはジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進が目的。政府は2020年9月までにジェネリック医薬品の使用割合を80%に引き上げることを目指している。昨年9月現在の千葉県の使用割合を75.9%と報告。子ども医療費助成制度で薬剤費の自己負担がない低年齢層や1割負担の後期高齢者の使用割合が低くなっていることも説明した。

パネルディスカッションで、鶴岡茂樹支部長は同協会が09年度から2月と8月にジェネリックに切り替えた場合の自己負担軽減額を対象者に通知していることを紹介。切り替え率の向上へ「2月と8月を推進月間としてイベントを行い、職場や家庭でジェネリックの話題が出るようオール千葉で啓発活動を推進していく」と述べた。

※千葉日報より記事の使用に関する許諾を受けています。

「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」当日の様子



《開会挨拶》



《基調講演》



《パネルディスカッション》



《閉会挨拶》

セミナーにおける支部長の意見発信

- ジェネリック医薬品軽減額通知は加入者（患者）様がジェネリック医薬品に切り替える絶好の機会！
- 千葉支部では、ジェネリック医薬品軽減額通知の送付と併せて、電車中吊り広告をはじめとした各種広報を実施する。
- 本日お集まりの皆様に以下の取組に協力をお願いしたい。
 - ・ ジェネリック医薬品軽減額通知を同時期発送（8月と2月）の実施。
 - ・ 軽減額通知の送付に併せた、加入者（患者）様に対するイベントや広報の一斉実施。
 - ・ 軽減額通知に併せて薬局や病院での積極的な声掛けの実施。

⇒ これらを同時に実施することが、より効果的なジェネリック医薬品の推進につながる



今後は、**8月と2月**をジェネリック医薬品
推進月間として、**オール千葉**での推進を。

「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」アンケート結果

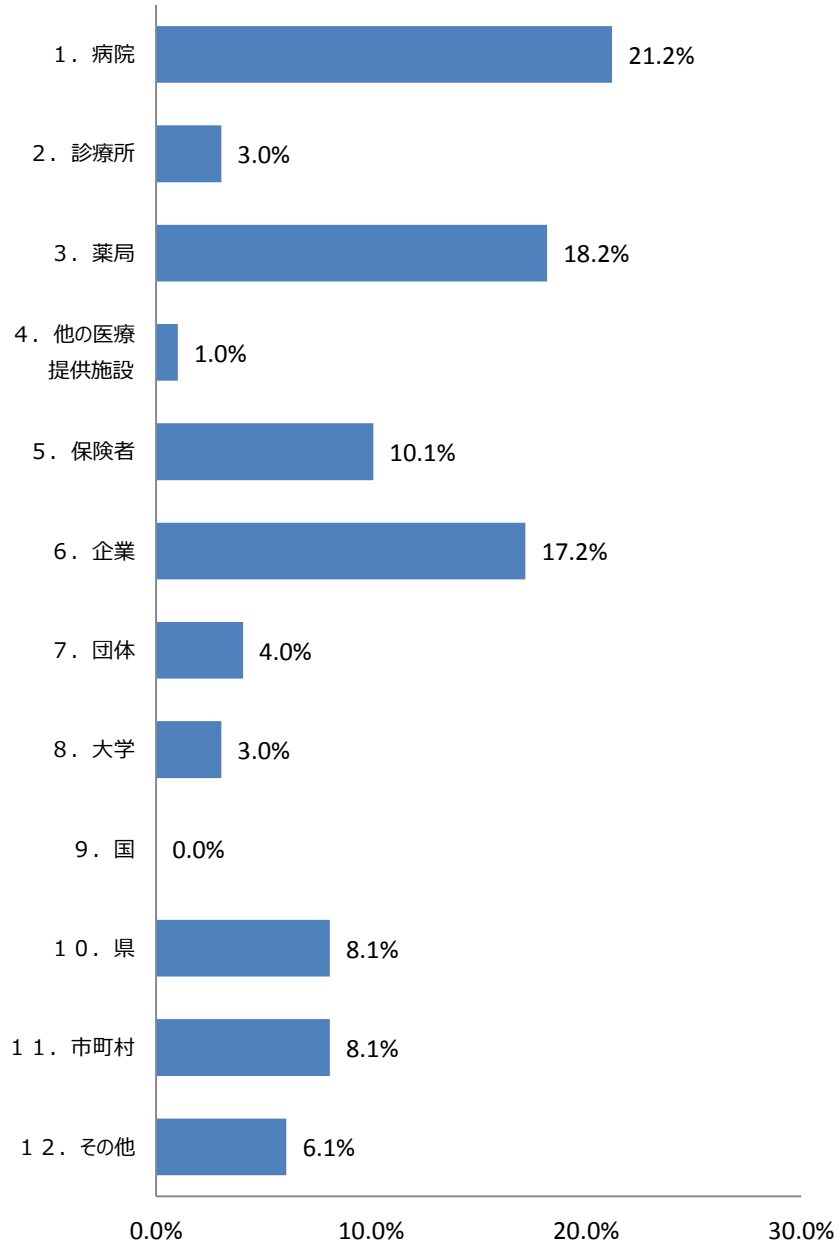
【アンケート集計数： 99 枚】

- 参加者の所属は病院（21.2%）、薬局（18.2%）、企業（17.2%）、保険者（10.1%）、県（8.1%）、市町村（8.1%）で約83%を占める。
- 属性は病院薬剤師（23.2%）、企業職員（18.2%）、薬局薬剤師（17.2%）、行政職員（17.2%）、保険者（9.1%）で約85%を占める。 ※薬剤師が全体の約40%
- 開催時刻や開催時間（90分）について概ね適当との回答が大半を占めた。
- 取組報告及び基調講演については「非常に有意義」、「概ね有意義」との回答が90%超
- パネルディスカッションについては「非常によく理解できた」が34%、「概ね理解できた」が65%となる。
- 今後のジェネリック医薬品の安心使用促進に必要なこととしては、安定供給（13.3%）、品質（添加物）（10.4%）、患者への啓蒙（9.0%）、信頼性（8.3%）、医師による患者への説明（6.8%）
- その他意見として
 - ・全体的に説明が駆け足になっていた。もう少し聞きたかった。
 - ・何故切り替わらないのか、もう少し掘り下げた意見を聞きたかった。
 - ・フロアからの質問（質問コーナー等）がほしかった。

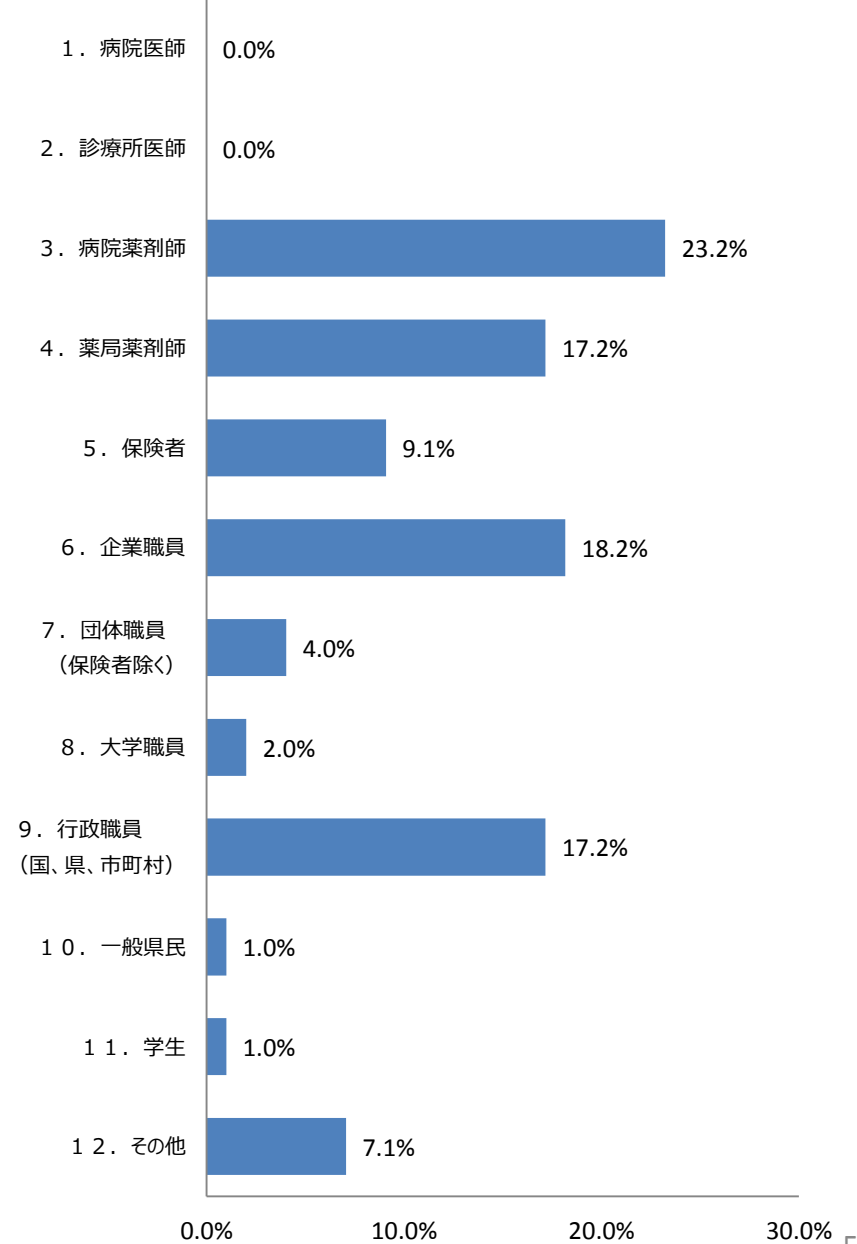
といった意見が見られました。

「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」アンケート結果②

《 所属 》

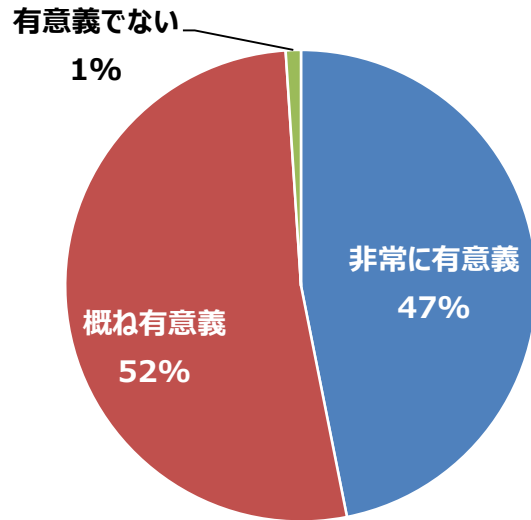


《 職種 》

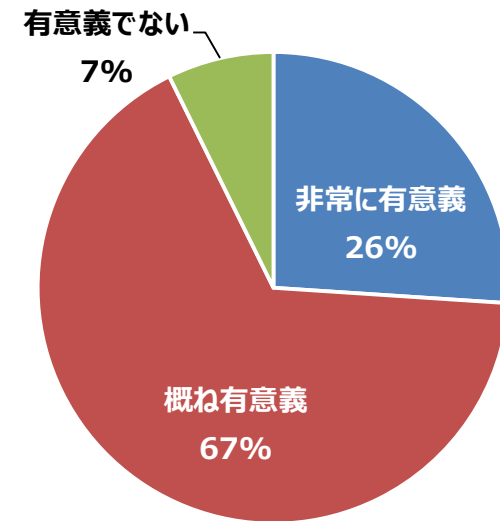


「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」アンケート結果③

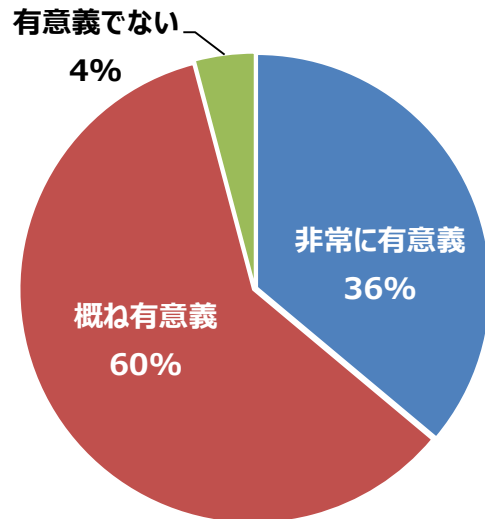
＜＜基調講演＞＞



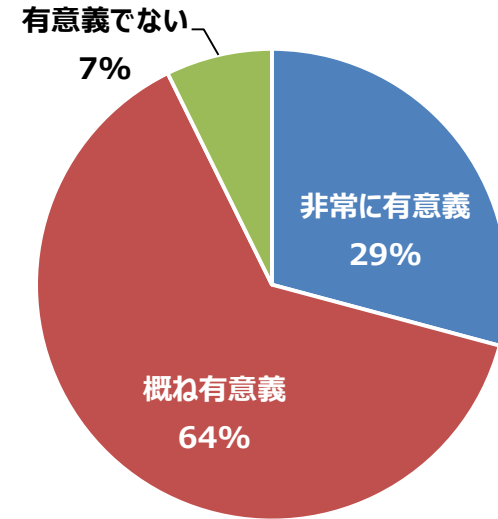
＜＜取組報告（薬剤師）＞＞



＜＜取組報告（医師）＞＞

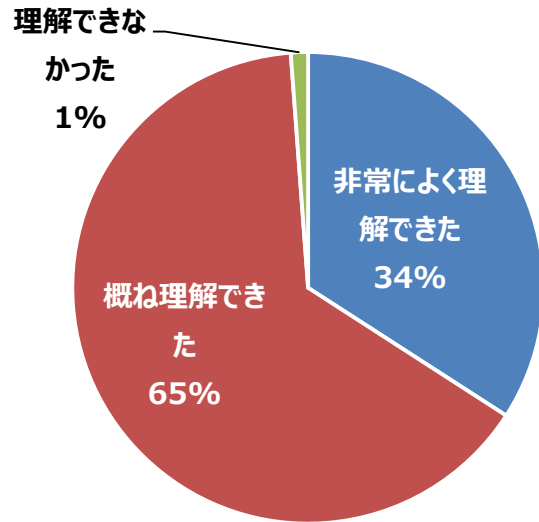


＜＜取組報告（製薬会社）＞＞



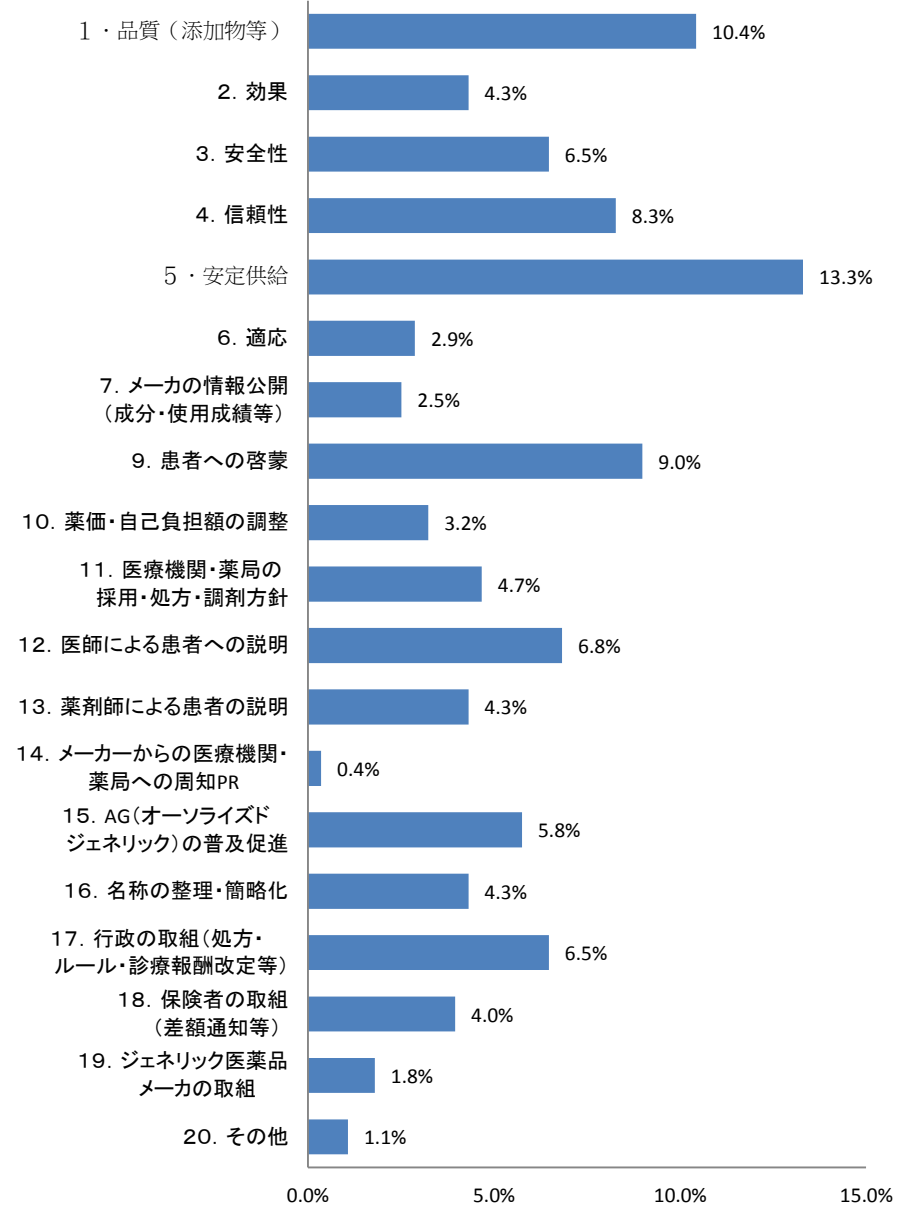
「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」アンケート結果④

「パネルディスカッション」



「ジェネリックの更なる安心使用促進にあたって取り組むべき事項等」

※最大3つまで選択



「ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー」アンケート用紙

【2019.3.7 ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー（千葉県&全国健康保険協会（協会けんぽ）千葉支部）】

ジェネリック医薬品安心使用促進セミナーアンケート

今後のジェネリック医薬品の推進方策検討の参考とさせていただきたく、以下のアンケートにご協力をお願いします。

I あなたの所属（勤務先等）、職種は、次のいずれですか。（番号を1つ〇で囲んでください。）

A 所属

- 1.病院 2.診療所 3.薬局 4.他の医療提供施設（ ）
5.保険者 6.企業 7.団体 8.大学 9.国 10.県
11.市町村 12.その他（ ）

B 職種

- 1.病院医師 2.診療所医師 3.病院薬剤師 4.薬局薬剤師 5.保険者
6.企業職員 7.団体職員（保険者を除く） 8.大学職員
9.行政職員（国・県・市町村） 10.一般県民 11.学生
12.その他（ ）

II セミナーの開始時刻等は、いかがでしたか。（番号を1つ〇で囲んでください。）

A 開始時刻（今回 午後6時30分から）

- 1.もう少し早いほうが良い 2.適当 3.もう少し遅いほうが良い
（具体的に： 時頃） （具体的に： 時頃）

B 時間（今回 90分）

- 1.もう少し長いほうが良い 2.適当 3.もう少し短いほうが良い
（具体的に： 分） （具体的に： 分）

III 今回のセミナーを受講して、いかがでしたか。（番号を1つ〇で囲んでください。）

（1）基調講演：「千葉県の現状と課題」

- 1.非常に有意義 2.概ね有意義 3.有意義でない

（2）取組報告Ⅰ：「病院医師の取組報告」

- 1.非常に有意義 2.概ね有意義 3.有意義でない

（3）取組報告Ⅱ：「薬局薬剤師の取組報告」

- 1.非常に有意義 2.概ね有意義 3.有意義でない

（4）取組報告Ⅲ：「ジェネリック医薬品製薬メーカーの取組報告」

- 1.非常に有意義 2.概ね有意義 3.有意義でない

【2019.3.7 ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー（千葉県&全国健康保険協会（協会けんぽ）千葉支部）】

IV 今回のセミナーでは、これからの千葉県のジェネリック医薬品の使用促進に必要なことをパネルディスカッション形式で、各パネリストがお答えしましたが、いかがでしたか。（番号を1つ〇で囲んでください。）

- 1.非常に良く理解できた 2.概ね理解できた 3.理解できなかった

V ジェネリック医薬品のさらなる安心使用促進にあたっての問題点や取り組むべき事項等について、あなたの意見はいかがですか。（番号を3つまで〇で囲んでください。）

- 1.品質（添加物等） 2.効果 3.安全性 4.信頼性 5.安定供給
6.適応 7.メーカーの情報公開（成分・使用成績等）
9.患者への啓蒙（テレビ等のメディア） 10.薬価・自己負担額の調整
11.医療機関・薬局の採用・処方・調剤方針 12.医師による患者への説明
13.薬剤師による患者への説明 14.メーカーから医療機関・薬局への周知・PR
15.AG（オーソライズドジェネリック）の普及促進 16.名称の整理・簡略化
17.行政の取組（処方ルール・診療報酬改定等） 18.保険者の取組（差額通知等）
19.ジェネリック医薬品メーカーの取組 20.その他（ ）

VI セミナー内容についての御要望や改善点、その他お気付きの点等がありましたら記載してください。（自由記載）

御協力ありがとうございました。